

平成24年 第3回北海道議会定例会（一般質問骨子）

質問者 公明党 吉井 透 議員

答弁者	質問骨子	関係部課
<p>知事 たけだし 高橋 はるみ</p> <p>建設部長 たけだ じゆんいちろう 武田 準一郎</p> <p>建設部長 たけだ じゆんいちろう 矢野</p>	<p>五 空港の活性化について</p> <p>次に、空港の活性化についてであります。</p> <p>道は、東アジアの国々や地域をターゲットとした観光戦略に、重点的に取り組まれておりますが、このような中、道内では、新千歳空港はもとより、地方空港の果たす役割には、極めて大きなものがあると考えます。</p> <p>一方、地方空港において、航空自由化後、各航空路線の廃止や縮小などから、利用者数が減少の一途にあり、地元経済に与える影響は、少ないものと考えます。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>(一) 地方空港の活性化方策について</p> <p>まず、知事は、道内の地方空港の現状と将来展望について、どのような所見をお持ちなのか。</p> <p>また、地方空港の活性化方策について、早急に策定すべきと考えますが、併せて所見を伺います。</p> <p>(二) 国際線の新規就航対策について</p> <p>また、道は 新千歳空港での国際ハブ空港の拠点形成を実現するため、新千歳空港と海外を結ぶ、新たな航空路線の誘致促進の一環として、就航経費に対し独自の道費補助をする、国際航空定期便の就航促進補助制度を平成6年度からスタートさせております。</p> <p>この間、補助金の総額は約5億3千万円にのぼり、対象事業者数は8社となっております。</p> <p>今議会には、ハワイアン航空とタイ国際航空の新規就航に対する支援として、今後、3年間で計約1億5千万を見込んだ、関連予算を提案されております。</p> <p>しかしながら、近年、海外からの新規路線の就航は、何も新千歳空港に限らず、地方空港でも、海外との定期便の就航が実現しているところであります。</p> <p>台湾・復興航空は、この9月から、旭川・台北線の定期便を就航させるなど、新たな動きも活発化しているところであります。</p> <p>そこで、地方空港の活性化を図るため、現行の国際航空定期便の就航促進補助制度を見直し、旭川空港などの地方空港も対象とするとともに、海外との新たな路線就航に向けた地方の取り組みに対し、道として、積極的にバックアップすべきと考えます。</p> <p>知事の所見を伺います。</p> <p>(三) 災害時のバックアップ体制の確立について</p> <p>さらに、昨年の東日本大震災では、被災を受けた空港が早期に復旧され、復興対策などに多大な貢献をされたところであります。</p> <p>このような中で、道内の空港ネットワーク体系における、災害時のバックアップ体制を考えると、札幌丘珠空港をはじめ、旭川空港や函館空港などの地方空港を新千歳空港の代替空港として位置づけることが、極めて重要なことと考えます。</p> <p>知事の所見を伺います。</p>	<p>建設部 空港港湾局 空港融化推進室</p> <p>建設部 空港港湾局 空港融化推進室</p> <p>建設部 空港港湾局 空港融化推進室</p> <p>(空理対策部長)</p>

質問者	公明党 吉井 透 議員	答弁者	知 事
所 管	建設部空港港湾局空港活性化推進室	旭川市	

五 空港の活性化について

(一) 地方空港の活性化方策について

知事は、道内地方空港の現状と将来展望について、どのような所見をお持ちなのか。
また、地方空港の活性化方策について早急に策定すべきと考えるが、併せて所見を伺う。

道内地方空港の活性化についてであります。

○ 本道においては、

医療をはじめとする道民生活や、経済活動、観光振興など、
さまざまな面で航空輸送が果たす役割が大きいことから、

航空ネットワークの維持・充実とともに、

道内空港の活性化に取り組んでいくことが重要であると考えている。

○ こうしたことから、道では、平成22年3月に、

道内空港活性化ビジョンを策定し、

これを踏まえて、関係市町村や経済界などとともに構成する
北海道地域航空推進協議会において

各地域の空港活性化の取組に対する支援や
利用促進キャンペーンなどを進めてきたところ。

○ 道としては、今年度、道外の3大都市圏で

道内地方空港のPR活動を展開する予定であり、

今後とも、各市町村などとの連携を強めながら、

道内地方空港の活性化に取り組んでまいりたい。

積極的に

本道の航空を取り巻く厳しい環境を踏まえ、

		答弁者	建設部長
質問者	公明党 吉井 透 議員	旭川市	
所 管	建設部空港港湾局空港活性化推進室		

五 空港の活性化について

(二) 国際線の新規就航対策について

道内の地方空港の活性化を図るため、現行の国際航空定期便の就航促進補助制度を見直し、旭川空港などの地方空港も対象とするとともに、海外との新たな路線就航に向けた地方の取り組みに対し、道として、積極的にバックアップすべきと考える。
知事の所見を伺う。

国際線の就航対策についてであります。

○ 道内地方空港への国際線の誘致は、
海外との人や物の交流を促進するとともに、
観光など地域の活性化にとって必要であると考えているところ。

○ 道においては、地域づくり総合交付金を活用し、 ← 「空の国又積極」
旭川空港における台湾路線維持拡大事業をはじめ、
地域における誘客促進などに対する支援を行っているほか、

昨年7月からは、道が管理する女満別・中標津・紋別の
各空港において、国際チャーター便の着陸料を
全額免除しているところであり、

道管理の空港以外においても
着陸料の減免が行われているところ。

○ 今後とも、道内地方空港への国際線の就航及び
その拡大が図られるよう、
地元自治体などと連携した取組を進めてまいりたい。

		答弁者	建設部長
質問者	公明党 吉井 透 議員	旭川市	
所 管	建設部空港港湾局空港活性化推進室		

五 空港の活性化について

(三) 災害時のバックアップ体制の確立について

【 昨年の東日本大災害では、被災を受けた空港が早期に復旧され、復興対策などに多大な貢献をされたところである。このような中で道内の空港ネットワーク体系における、災害時のバックアップ体制を考えると、札幌丘珠空港をはじめ、旭川空港や函館空港などの地方空港を新千歳空港の代替空港として位置づけることが、極めて重要なことと考えますが、知事の所見を伺う。】

空港のバックアップ体制についてであります、

- 空港は、災害時において、緊急・救命活動の拠点として重要な役割を担うほか、特に、新千歳空港など航空輸送上、重要な空港においては、

航空ネットワークの維持、地域の経済活動の継続性を、確保するという役割を果たすことが求められており、こうした考えのもと、新千歳空港においては、滑走路などの耐震化が進められているところ。

- また、丘珠空港については、大規模災害発生時の緊急救援活動の拠点や、傷病者の搬送などを担っており、

旭川空港や函館空港などは、天候不良などで、航空機が新千歳空港に着陸できない場合には、代替の着陸空港として利用され、補完機能を有していると考えているところ。

- 道としては、新千歳空港とともに、道内地方空港が連携して、災害時において、その役割を果たしていくことが重要と考えている。

（手書きの署名）